【表題】

身体活動と健康の関連

Relationship between Physical Activity and Health

【著者名】

運動太郎1)，疫学花子2)

Taro Undo1), Hanako Ekigaku2)

【所属機関名】

1. ○○大学○○学科
〒000-0000　○○県○○市○○1-1-1
Department of ○○, ○○University
2. ○○研究所
〒000-0000　○○県○○市○○1-1-1
○○Institute

【連絡先】

運動太郎 (Taro Undo)

〒000-0000　○○県○○市○○1-1-1

1-1-1 ○○, ○○, ○○, 000-0000, Japan

Phone: 000-000-0000

Fax: 000-000-0000

E-mail: taro@ekigaku.undo.ac.jp

【論文の種類】原著

【図表の数】図2点，表4点

抄録

【目的】○○○○○○○○○○○・・

【方法】○○○○○○○○○○・・

【結果】○○○○○○○○○○○・・

【結論】○○○○○○○○○・・

キーワード：

○○○○○，○○○○○，○○○○○，○○○○○，○○○○○

Abstract

Objective: ○○○○○○○○○○○・・

Methods: ○○○○○○○○○○○・・

Results: ○○○○○○○○○○○・・

Conclusion: ○○○○○○○○○○○・・

Key words：

○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○

＊タイトル等に含まれる単語と重複しないようにすることが望ましい

Ⅰ　緒言

○○○○○○○○○1)，○○○○○○○2)。○○○・・

Ⅱ　方法

1. 研究デザイン

○○○○○○○○○・・

2. 対象者

○○○○○○○○○・・

3. 評価項目

1) ○○○○

○○○○○○○○○・・

2) ○○○○

○○○○○○○○○・・

＊標題とする項目は研究に合わせて適宜ふさわしいものを選択すること

Ⅲ　結果

○○○○○○○○○・・

表1挿入

○○○○○○○○○・・

図1挿入

○○○○○○○○○・・

○○○○○○○○○・・

Ⅳ　考察

○○○○○○○○○○・・

Ⅴ　結論

○○○○○○○○○○○・・

謝辞

○○○○○○○○・・

文献

1. 澤田亨, 武藤孝司. 日本人男性における有酸素能力と生命予後に関する縦断的研究. 日本公衆衛生雑誌. 1999; 46: 113-121.
2. Paffenbarger RS Jr, Hyde RT, Wing AL, Hsieh CC. Physical activity, all-cause mortality and longevity of college alumni. N Engl J Med. 1986; 314: 605-613.
3. 種田行男, 諸角一記, 中村信義, 他. 変形性膝関節症を有する高齢者を対象とした運動介入による地域保健プログラムの効果: 無作為化比較試験による検討. 日本公衆衛生雑誌. 2008; 55: 228-237.
4. Nelson ME, Rejeski WJ, Blair SN, et al. Physical activity and public health in older adults: recommendation from the American College of Sports Medicine and the American Heart Association. Med Sci Sports Exerc. 2007; 39: 1435-1445.
5. マーカス BH, フォーサイス LH (著). 下光輝一, 中村好男, 岡浩一朗 (監訳). 行動変容ステージモデル. [In] 行動科学を活かした身体活動・運動支援－活動的なライフスタイルへの動機付け. 大修館書店, 東京, 2006: 10-23.
6. Bauman A, Phongsavan P. How can we increase physical activity levels? [In] Lee I-M, eds. Epidemiologic Methods in Physical Activity Studies. Oxford University Press, New York, 2009: 302-316.
7. Compendium of Physical Activities.
https://sites.google.com/site/compendiumofphysicalactivities/（アクセス日：2016年6月19日）